

# 令和6年度事業計画

令和5年度は、新型コロナウイルスの5類移行（令和5年5月）の後、対面でのイベントも活発になる一方、地理的な制約のないオンライン開催のセミナーなども継続し、理事長方針「ひろげる」のコンセプトのもと、各種セミナーや勉強会、展覧会、交流会を実施してきました。また、新たにデジタルマガジンを開始し、幅広い層に向けた情報発信を推進しています。令和6年度は、2年に一度の「日本パッケージデザイン大賞」ならびにオンライン開催の「パッケージデザインの学校」を開催するとともに、令和4年度よりの「日本パッケージデザイン学生賞」をはじめ、例年開催するセミナーなど多様な事業を展開する予定です。6月には新執行体制がスタートする予定で、引き続きガバナンス体制の効いた事業運営に取り組んでまいります。

## I. 公益事業

### 1. パッケージデザインに関する調査・研究及び情報の収集・発信事業

#### (1) 調査・研究事業

2021年度より取り組みを始めた委員会分科会活動を引き続き推進する。全体共通テーマ「SDGsとパッケージデザインの関わり」を基本に、ユニバーサルデザイン／ローカルパッケージ／若い世代の商品選択、それぞれの分科会で情報収集・整理を進め、ライブラリーサイト「情報の森」を活用して情報発信を適宜行う。また、3分科会の調査結果を整理し、包装業界人が多く訪れる「東京PACK2024」（日本包装技術協会主催・2024年10月23日～25日）にて、展示・セミナーで成果発表を行う。

#### (2) 広報事業

##### (a) 広報誌の制作、発行

JPDAの活動やパッケージデザインの魅力を発信する広報誌「JPDA MAGAZINE」を企画・編集、アニュアルマガジンとして発行する。

##### (b) アーカイブ活動

次世代へのデザイン資産の継承を目的に、「日本パッケージデザイン大賞」上位入賞作品の収集保管・研究・記録とともにサイトおよびセミナーの形式で情報発信を行う。受賞者のインタビュー録画「声のアーカイブ」を会員専用ページへ継続掲載する。引き続き、日本デザイン団体協議会（略称：D00）デザインミュージアム設立研究委員会に参画し、領域を超えたアーカイブ活動の研究を進める。

#### (3) インターネット事業

インターネット等のメディアによるJPDAの広報活動、マイワークスの運営、及び情報発信を進める。2023年にスタートしたデジタルマガジンでは、継続的なコンテンツの企画制作、情報発信を強化するとともに、SNS活用やマイワークスなど既存サイトとの連携を充実させる。

### 2. パッケージデザインに関する表彰についての公募、審査、受賞者の発表、贈賞に関わる事業及び、パッケージデザインに功績のあった人並びに団体の顕彰等

#### (1) 日本パッケージデザイン大賞

「日本パッケージデザイン大賞2025」を実施する。作品募集、作品審査を2024年に進め、2025年2月に贈賞式を開催する。

#### (2) パッケージデザイン功績賞

パッケージデザインの社会的重要性の認識を高め、日本のパッケージデザインの向上に寄与した個人、または法人に贈る JPDA パッケージデザイン功績賞の贈賞式を通常総会後に開催する。贈賞式後には、受賞者による記念セミナーを開催する。

(3) 日本パッケージデザイン学生賞

3回目となる「日本パッケージデザイン学生賞」を実施し、パッケージデザインの世界に、より新鮮で多様な価値をもたらし、次代を担う学生に焦点を当て、作品を公募し表彰する。パッケージデザインへの理解を深めるため、学生を対象としたワークショップも実施する。

3. パッケージデザインに関する展覧会事業

(a) 創作パッケージデザイン展

パッケージデザインの魅力やパッケージデザイナーによるクリエイティビティを世の中に広めるために、2025年度に新たな展覧会を開催する。2024年度はそのための準備期間と位置付けて企画を中心とした活動を進める。

(b) パッケージデザイン大賞 2025 巡回展（名古屋開催）

JPDA パッケージデザイン大賞名古屋巡回展 2025 を 2025 年 3 月に名古屋市内の国際デザインセンターにて開催、日本パッケージデザイン大賞 2025 の受賞作を広く一般に向けて展示する。展示期間中には関連セミナーを開催する。

(c) 「現代日本のパッケージ」展

印刷博物館が主催し、包装パッケージ 3 団体が共催する「現代日本のパッケージ 2024」展（2024 年秋予定）において、企画展示をおこなう。2024 年 5 月に刊行する「PACKAGE DESIGN INDEX 2024」の掲載作品よりピックアップした特集展示を企画する。

4. パッケージデザインに関する各種セミナー・育成事業

(1) セミナー事業

(a) トークカフェ 2024

若手中堅層をターゲットにパッケージの新たな可能性や繋がりを確かにしていくことを目指し、2024 年秋にトークショーをリアル開催する。

(b) 西日本デザインセミナー

西日本地域において、講師を招いたデザインセミナーを開催する（6 月から 7 月ごろを予定）。セミナー後には、講師を交えた交流会も予定。

(c) 西日本リアル見学会

西日本地域において、パッケージに関連する工場等の施設を見学するイベントを実施する（9 月から 10 月ごろを予定）。パッケージデザインや印刷・加工の知識向上の機会とする。

(d) 中日本（愛知・岐阜）パッケージデザイン講演会（名古屋開催）

名古屋市内において、パッケージデザインの講演会を開催する（7 月から 8 月ごろを予定）。

(e) 中日本（北陸）富山デザインフェア

富山市主催のデザイン振興イベントにおいて、学生を対象とした「パッケージデザインコンペティション」入賞作品展及び、JPDA の作品展示をおこなう。

(f) 中日本（北陸）JPDA Talk café 2024 in 金沢

次世代のパッケージデザイン界を担う若手デザイナーと学生を対象としたトークイベント「JPDA Talk café 2024 in 金沢」（若手デザイナー育成セミナー）を開催す

る。開催地を富山と金沢を隔年で変更することにより各地域のデザイナーと学生の交流活性化を図る。

(2) 権利保護事業

(a) サイトでの知財情報発信

JPDA サイトにて知財関連の情報発信（専門家によるコラム「知財くんがゆく」）をおこなう。年度内に4回掲載を予定する。一見難しそうな知的財産権に関する話題を、身近な事例をコラムとして取り上げることで、わかりやすく発信していく。

(b) デザイン保護セミナー

年度内に2種類のデザイン保護セミナーを開催する。「実務に役立つ知財セミナー」：レンタルフォトやフォントの取り扱いなど実務に役立つテーマを取り上げ、オンラインで開催する（6月から7月を予定）。「知財勉強会」：実務経験者を対象にデザイン全般に関するテーマを取り上げ、少人数開催とすることで深く掘り下げていく（年度後半にリアル開催を予定）。

(3) 育成事業

2024年秋に「パッケージデザインの学校オンライン」を開催する。今回はリアル開催のワークショップ講座も組み込む予定。

5. パッケージデザインに関する国内・国際交流事業

(1) 全国会議事業

全国規模のオンライン交流会「みんなでつながろう！デザインの輪」を開催する。全国会員及び一般参加者に対して、パッケージデザインに関する交流の場を提供する。2024年度は前半期、後半期各1回を予定。

(2) 新年交流事業

(a) 東日本 新年デザイン交歓会

「新年デザイン交歓会」を2025年1月に開催、講演会と交流会の二部構成とする。交流促進やマッチングにつながるきっかけを提供していく。

(b) 西日本 セミナー&デザイン交流会

西日本地域において、2月から3月の時期に、対面でのセミナー及び交流会を開催する。

(3) 国際交流事業

(a) 海外デザイナーとの交流

パッケージデザインの国際化に向け海外との情報交換と人的交流を進めるために、新しいアプローチにトライしていく。海外デザイナーとの対面によるセミナー形式の交流イベントを計画している。

(b) 国際交流オンラインセミナー

海外で活躍するクリエイターを招き、現地の状況を交えつつリアルタイムのオンラインで行う講演会を、2024年度も継続して実施する。

(c) 海外研修視察ツアーの準備

コロナ禍で休止していた海外研修視察ツアーを再開するための準備を行う。2024年度は、参加者の要望把握や、情報収集を行い、2025年度での実施を目指す。

(d) アジアパッケージデザイン会議 (APD)

アジア各地域のパッケージデザイン団体によるアジアパッケージデザイン会議(APD)は、次回2024年秋、韓国にてKPDA韓国パッケージデザイン協会のホストによる開催が予定されている。各国地域からのエリアレポート発表など情報共有、課題共有とともに、参加するパッケージデザイナーとの交流を図る。

(4) 東日本大震災復興支援事業

東北プロジェクトによる復興支援活動の後、経産省東北経済産業局主催「おいしい東北パッケージ展」への協力（審査員、セミナー講師派遣）を継続してきた。ワークショップ開催など他事業との連携を図るとともに、将来に向けた復興支援事業のあり方を模索・検討していく。

6. パッケージデザインに関する出版事業

(a) 年鑑日本のパッケージデザイン 2025

日本パッケージデザイン大賞 2025 の入賞・入選作品を掲載した「年鑑 日本のパッケージデザイン 2025」を、2025年5月発刊に向けて、企画・編集を行う。今回で21回目を迎える日本パッケージデザイン大賞と、過去2年間の時代を反映したパッケージデザインの潮流を書籍として記録することで、アーカイブとしての機能も果たしていく。

(b) PACKAGE DESIGN INDEX 2024

「PACKAGE DESIGN INDEX 2024」を2024年5月に発刊する。大賞入賞・入選作品とは別の側面を持つ、デザイナーおよびクライアント企業による現在のパッケージデザイン作品集として広く発信する。マーケティング及びブランディング戦略の資料として活用されるものとする。

(c) 新企画本

2022年度より、掲載パッケージの公募・収集、編集・検討を進めてきた新企画本「ステキなパッケージ」は、2025年5月刊行を目指して、掲載パッケージの許諾作業、出版社との交渉、編集作業を進める。多様なパッケージデザインの価値や魅力を研究し解明を試みる書籍とする。

II. 収益事業

1. アジア学生パッケージデザイン交流プロジェクトの受託事業

平成27年6月、(独)国際交流基金とアスパック協会が推進するアジア学生パッケージデザイン交流プロジェクトを受託することで変更認定を受けたが、令和2年度になり、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、アスパックの全ての事業が中止となり、令和3年3月をもって主催者であり事業の委託元である(一社)アスパック協会も解散となったことから、当協会の収益事業も中止としている。新たな収益事業の探索、あり方を検討する。

III. 法人事業

1. 顕彰事業

顕彰規定に基づき、令和5年度に理事会にて選考を行った結果、贈賞対象者が決定したJPDA 貢献賞 2024 の授与をおこなう。

以上